

FOR ADVANCED TREATMENT

SELF CREATOR

Preparation Set

MANI®

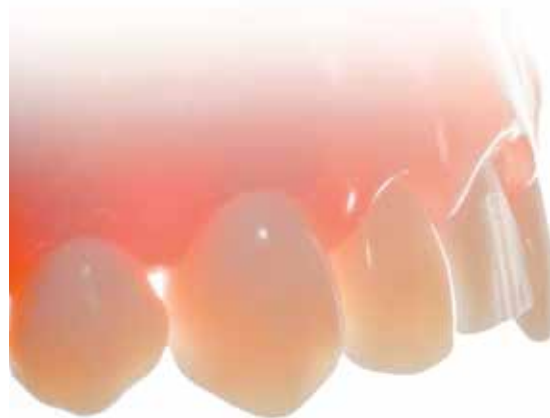
► Concept

■ Designed for Tooth Preparation

Systematic

Balanced

Practical



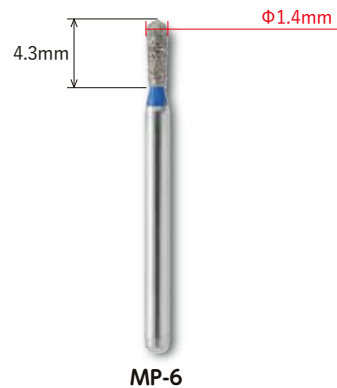
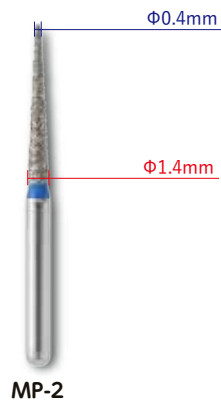
支台歯形成用ダイヤモンドバーセット(**SELF CREATOR**)は、全ての形態において、理想のテーパー値、角度、長さを付与することを目指して設計しました。規定通りに使用することで、術者の支台歯形成をサポートします。

アドバイザー

医療法人慈愛恵真会 あらかい歯科医院

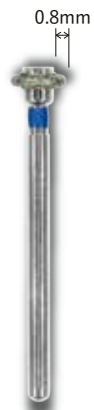
松本 勝利 先生







MP-7



MP-9



MP-11



MP-8



MP-10



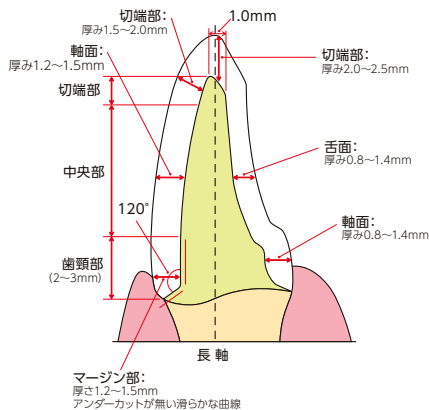
MP-12F

▶ Instruction - Anterior



【前歯】
施術動画

前歯の支台歯形成における条件



※CAD/CAMをご使用の場合は緑上マージンを推奨します。

Step 1 唇・舌側マージン形成

削り/リシロを残した状態でマージンの上下の設定位置と水平的な幅を設定する。

唇側: 高さ0.3mm 深さ1.2mm
舌側: 高さ0.3mm 深さ0.6mm

MP-1



Step 2 隣接開放

隣接面を傷つけないように切端から歯頸部へ形成し開放する。

MP-2



Step 3 切端グループ形成

切端を必要量削除する。
1回につき0.8mm程度削除可能。

MP-9



Step 4 唇面グループ形成

唇面に補綴物の厚みを考慮しながらデプスグループ0.8mmの深さで形成する。

MP-9



Step 5 舌面グループ形成

クリアランスを考慮してデプスグループを1.0mm程度の深さで形成する。

MP-1



Step 6 第1面形成

歯軸を考慮しながら軸面を形成する①
歯軸に合わせて1.4mmの深さで形成する。

MP-3



Step 7 第2面形成

歯軸を考慮しながら軸面を形成する②
第1面の立ち上がり部2~3mmを削ぎ落とすように角度を変えて形成する。

MP-3



Step 8 切端削除

幅と傾斜を考慮しながら咬合方向に多少傾斜する様に形成する。

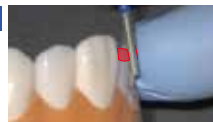
MP-3



Step 9 第3面形成

歯軸と審美的なクリアランスを考慮して、角度を変えて形成する。

MP-4



Step 10 隣接部形成

隣接面のマージン部を切端から歯頸部へ整える。

MP-4



Step 11 舌面形成

クリアランスを考慮して舌面を形成する。

MP-10



Step 12 唇側マージン仕上げ

唇側マージンを歯軸に対して120°の傾斜でスロブドショルダーに整える。

MP-12F



Step 13 マージン仕上げ / 四隅角の整理

近遠心傾舌側の四隅角を移行的に仕上げる。
マージン線下方への深さと水平的な幅を整え、四隅角とマージンの幅を一定にする。

MP-4



完成

※写真は仕上げにホワイトポイントを使用し上げています。
※CAD/CAMをご使用の場合は隅角部の鋭角を丸めることを推奨します。

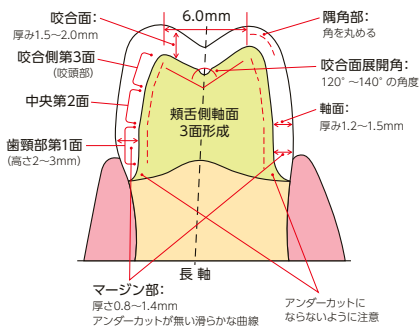


▶ Instruction - Posterior



【白歯】
施術動画

白歯の支台歯形成における条件



※CAD/CAMをご使用の場合は縁上マージンを推奨します。

Step 1 頬・舌面マージン形成
削リバリシロを残した状態でマージンの上下の設定位置と水平的な幅を設定する。
高さ0.3mm深さ0.6mmで形成する。

MP-1

Step 2 隣接開放
隣接面を傷つけないように頬側から舌側へ、そして咬合面側から歯頸部へ形成を進める。

MP-2

Step 3 頬・舌面グループ形成
軸面の傾斜と補綴物の厚みを考慮して頬舌側第1,2面のグループを1.0mm程度の深さで形成する。

MP-4

Step 4 咬合面小窩部形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる①
咬合面の各小窩部を深さ1.5mmで形成する。

MP-6

Step 5 咬合面主製溝部グループ形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる②
機能咬頭側2.0mm、非機能咬頭側1.5mm、中心溝・辺縁隆線部を深さ1.5mmで形成する。

MP-6

Step 6 咬合面咬頭隆線部グループ形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる③
各咬頭隆線部の深さは機能咬頭側で1.5mm、非機能咬頭側で1.5mm形成する。

MP-6

Step 7 咬合面削除
グループを繋げるように咬合面を平坦に形成する。

MP-6

Step 8 中心溝明示
中心溝に更にグループを入れる。
両隣在歯の中心溝の位置に合わせて中心溝を明示する。

MP-7

Step 9 咬合面 咬頭頂部決定
咬合面の中心溝からの幅を考慮しながら形成する。
頬舌側の中心溝から咬頭頂までの距離を3.0mmに揃える。

MP-8

Step 10 頬側第1,2面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する①
第1面を0.8mm(バーの半径)、第2面を第1面の立ち上がり2~3mmを削合しない様整える。

MP-3

Step 11 舌側第1,2面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する②
第1面を0.8mm(バーの半径)、第2面を第1面の立ち上がり2~3mmを削合しない様整える。

MP-3

Step 12 頬・舌側第3面形成
第2面と9で咬合面に出来た溝を繋げるように第3面を形成する。
咬合面頬側にできたグループと結び様に形成する。

MP-3

Step 13 隣接形成／四隅角の整理
近遠心頬舌側の角が残らない様に四隅角を移行的に仕上げる。
隣接面を咬合面から歯頸部へ形成し、四隅角をマージンの幅が一定になる様整える。

MP-4

Step 14 マージン部形成
マージンの線下方向への深さを整える。

MP-5

完成

※写真は仕上げ後にホワイトポイントを使用し仕上げています。

▶ Line up

*ご使用前には口腔外で振れ等がないことをご確認ください。異常が確認された場合にはご使用を直ちに中止してください。

セッテン



■ Product Composition

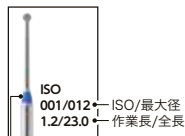
12本セット／10,300円
(MP-1～MP-12F)

1シート5本入／4,300円

MP-1～MP-4	前・臼歯
MP-5～MP-8	臼歯
MP-9～MP-12F	前歯

商品

形状の見方



カラーコード

※表組中の画像は原寸です。

品番	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8	MP-9	MP-10	MP-11	MP-12F
形成部	マージン形成	隣接面除去	軸面形成 (先端ダイヤ有)	軸面形成 (先端ダイヤ有)	隣接部軸面形成 (先端ダイヤ有)	咬合面削除	中心窩形成	咬合面形成	形成用 デブスマーカー	舌面形成(大)	舌面形成(小)	エンド カッティング
形状												
ISO	001/012 1.2/23.0	166/014 10.2/22.0	219/022 9.2/22.5	198/016 9.3/22.5	198/022 9.4/22.5	238/014 4.4/21.4	463/019 2.0/18.6	032/032 5.1/19.5	073/038 1.4/23.2	277/024 4.6/20.7	277/021 4.1/19.2	150/010 8.0/21.3
最高許容回転数 (min ⁻¹)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	90,000	300,000	300,000	300,000
砥粒サイズ	スタンダード (106-125μm)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フライン (53-63μm)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エクストラフライン (20-30μm)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

製造販売 マニー株式会社

発売 株式会社モリタ

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地8-3
【国内営業G】 Tel: 028-667-8591 / Fax: 028-667-8593
URL: <http://www.mani.co.jp>

大阪本社 ■ 〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3丁目33番18号 Tel: 06-6380-2525
東京本社 ■ 〒110-8513 東京都台東区上野2丁目11番15号 Tel: 03-3834-6161

●ご使用に際しては、必ず添付文書、インストラクションカードをお読みください。

医療機器届出番号 09B1X00006002010
一般医療機器 一般的名称: 歯科用ダイヤモンドバー
販売名 マニーダイヤバー

D11030



DIA-BURS. ||†